

kurihara NEWS

9月の様子

9月1日の『防災の日』に合わせ、避難訓練と引き取り訓練を実施しました。

今回の避難訓練では、実際の災害時を想定し、避難経路となる階段に障害物を設置して行いました。普段から繰り返し訓練を行っていることもあり、子どもたちは先生の話をよく聞き、周囲の状況を確認しながら、園庭まで避難することができました。

また、避難訓練後には保護者の皆さまにもご協力いただき、引き取り訓練を行いました。実際の災害時を想定して、引き渡しまでの流れを確認する機会となりました。

今回の訓練を通して、子どもたち・職員・保護者の皆さまと防災について改めて考えることができました。今後も万が一の災害に備え、安全を守るための取り組みを続けていきたいと思いをします。



9日(水)、年少組が園外保育に行きました。

場所は『ロマンスカーミュージアム』！

館内では、さまざまな車両を間近で見学したり、大きなジオラマを見たりして楽しみました。普段見ることのできない電車や、細かく再現された街並みに興味を持ち、『すごい！』『あの電車知っているよ！』など、子どもたちからも楽しそうな声が聞かれました。

たくさんの電車やジオラマを見学した後は、園に戻り、お部屋で楽しみにしていたお弁当の時間です。園外保育での出来事を友だちや先生と話しながら、おいしくお弁当をいただきました。

今回の園外保育では、電車を見たり、ジオラマを見学したりと、子どもたちにとって楽しい経験がたくさんできた一日となりました。これからも、さまざまな経験を通して、子どもたちの興味や関心を広げていきたいと思いをします。





12日(土)に、入園見学・説明会と公開保育を行いました。当日は土曜保育ということもあり、普段とは少し違った雰囲気の中での保育となりました。公開保育では、保護者の方にも子どもたちが園でどのように過ごしているのかを実際に見ていただきました。いつも一緒に過ごしている友だちや先生との関わりや、遊びや活動に取り組む様子など、普段の園生活の姿を見ていただく機会となりました。また、入園を検討されている方にも園内の様子をご覧いただき、園での生活や活動について知っていただくことができました。説明会では、園で大切にしていることや日々の保育についてお話しし、園の雰囲気を感じていただく時間となりました。子どもたちにとっても、保護者の方に園での様子を見てもらえる貴重な機会となりました。今後も、保護者の皆さまと子どもたちの成長を共有しながら、安心して園生活を送れる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

24日より、りんご組の後期入園のお友だちの登園が始まりました。

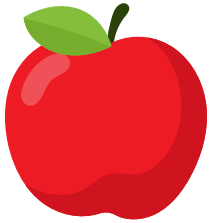
初めての幼稚園生活や新しい環境に、ドキドキした表情を見せながら登園する姿も見られています。お家の方と離れることに寂しさを感じたり、少し緊張したりすることもあると思いますが、先生やお友だちと過ごす中で、少しずつ安心できる場所を見つけていけるように関わっていきたいと思います。

これからは、園での生活の流れを覚えたり、身の回りのことに挑戦したり、お友だちと一緒に遊んだり、さまざまな経験が待っています。運動会をはじめ、季節の行事や楽しい活動もたくさん予定されています。初めて経験することもあると思いますが、一つひとつの経験を楽しみながら、できることを少しずつ増やしていってほしいと思います。

新しいお友だちを迎え、さらににぎやかになりました。これから先生やお友だちとたくさん遊び、いろいろなことを経験しながら、楽しい思い出をたくさんつくっていきましょう！



成長だより



りんご組



制作活動を通して、のりの使い方がとても上手になってきました。以前は、のりをつける量や場所を確認しながら進めていましたが、今では『端っこ列車』といって、紙の端にのりをつけて、ぺたっと貼ることを意識しながら取り組めるようになっていきます。

また、のりを使い終わった後は、蓋を閉めて元の場所に戻すところまで、言われなくても自然と行えるようになりました。次に使う友だちのことを考えながら、道具を正しく使い、片付けまで自分で行う姿が見られています。

制作を楽しむだけでなく、道具の扱い方や片付け方も少しずつ身につき、『自分でできること』が増えている子どもたち。日々の活動の中で、一つひとつの経験を積み重ねながら成長している姿に、嬉しさを感じます。



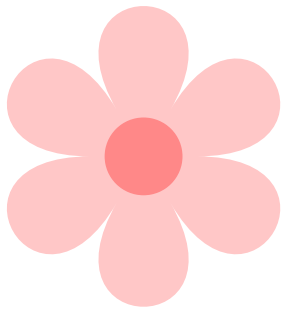
年少組

今月も園生活の中で、子どもたちができるようになったことがたくさんありました。

粘土遊びでは、指先を上手に使いながら、丸めたり伸ばしたり、形を工夫したりする姿が増えてきました。以前よりも細かな作業が上手になり、作りたいものをイメージしながら楽しんでいます。

また、靴を脱いだ後には、自分で靴を揃えて置けるようになりました。さらに、水筒も横に置くのではなく、縦に立てて置くことができるようになっていきます。毎日の生活の中で繰り返し経験することで、身の回りのことを少しずつ自分でできるようになってきた子どもたち。何気ない一つひとつの姿からも、成長を感じることができます。





年中組



8月下旬から、年中組では新しいことに挑戦しています！

運動会に向けて、初めて『パラバルーン』に取り組み始めました。まずは基本的な動作や約束を教えていただき、一つひとつの動きを確認しながら、日々練習に励んでいます。友だちと動きを合わせることの難しさもありますが、みんなで声を掛け合いながら、一生懸命取り組む姿が見られています。

また、英語ではこれまで単語や文章を発音することを中心に取り組んできましたが、現在は『Writing』にも挑戦しています。文字を書くことに少しずつ慣れながら、楽しんで取り組んでいます。

新しいことにも意欲的に挑戦し、できることを少しずつ増やしている年中組。これからもさまざまな経験を重ねながら、運動会に向けてみんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思います。



年長組



年長組で『お祭りごっこ』を開催しました！準備の段階から、年長組らしく『どんなお祭りにしたいか』『何を作ったら楽しそうか』など、自分たちで考えながら取り組む姿が見られました。友だち同士でアイデアを出し合い、『こうしたらもっと楽しそう！』と相談しながら、必要なものを作ったり、遊び方を工夫したりして準備を進めました。一人で考えるだけでなく、友だちと協力しながら一つのを作り上げていく中で、年長組ならではの成長も感じられました。

そして迎えたお祭り当日は、自分たちで準備したものを使って思いきり楽しみ、大盛り上がり！友だちと一緒に笑顔で楽しむ姿がたくさん見られました。

自分たちで考え、工夫し、友だちと協力して作り上げたお祭りごっこ。楽しい遊びの中にも、子どもたちの主体性や協力する力がたくさん詰まった、素敵な活動となりました。

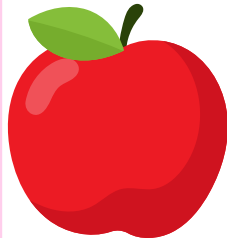
月1 TOPIC

Q.子供と関わる中でうれしい瞬間

子ども同士のトラブルがあった際には、決めつけることなく、一人ひとりから話を聞くことを大切にしています。まずはそれぞれの気持ちを受け止め、「どうしてそうしたのか」「どう感じたのか」を一緒に考えながら、思いを整理していきます。

まだ自分の気持ちや状況をすべて言葉にすることが難しい年齢でもあるため、子どもの表情や様子にも目を向けながら、保育者が気持ちを汲み取り、相手に伝えることも大切にしています。

一人ひとりの思いを受け止めてもらう経験を重ねることで、少しずつ自分の気持ちを言葉で伝えたり、友だちの気持ちにも目を向けたりできるようになっていきます。これからも子どもたちの思いに寄り添いながら、安心して友だちと関わるができるよう援助していきたいと思います。



りんご組



年少組

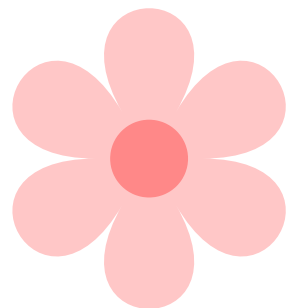
子ども同士のトラブルが起きた時には、「嫌だったんだね」「使いたかったんだね」と、一人ひとりの気持ちを受け止め、寄り添うことを一番大切にしています。まずは「そう思ったんだね」と気持ちを認めてもらうことで、安心して自分の思いを表現できるようにしています。

その後、「次はどうしたらいいかな?」「何がよくなかったかな?」「どうしたら楽しくなるかな?」と子どもたちと一緒に考えながら、相手の気持ちにも少しずつ目を向けられるよう関わっています。

すぐに答えを教えるのではなく、保育者と一緒に考える経験を重ねることで、少しずつ「どうしたらいいかな」と自分たちで考え、解決しようとする姿も見られるようになってきました。これからも一人ひとりの気持ちを大切にしながら、友だちとの関わりの中で学び、成長していけるよう見守っていききたいと思います。

子ども同士のトラブルがあった際には、まずそれぞれの話を聞くことを大切にしています。どのような気持ちからトラブルにつながったのかを一緒に整理し、自分の気持ちを言葉で伝えられるような環境を作ることで、相手の気持ちにも目を向けられるようにしています。

また、一人ひとりの気持ちを受け止めながら丁寧に話を聞き、自分の思いを安心して伝えられるよう心掛けています。友だちとの関わりを通して、相手の気持ちを知ることや、お互いに気持ちを伝え合うことの大切さを学んでいけるよう援助しています。



年中組



年長組

年長児として、友だち同士でお互いの気持ちを伝え合い、「なぜ嫌だったのか」「どうしてそうしたのか」を知ることができるよう、小さなトラブルがあった際には、すぐに保育者が介入せず、まずは子どもたち自身で考え、解決できるよう見守っています。

自分の思いを伝えるだけでなく、相手の気持ちにも目を向けることを大切にし、友だちとの関わりの中で少しずつ学んでいけるよう援助しています。ただし、手が出してしまった場合などには保育者が間に入り、双方の話を丁寧に聞きながら、それぞれの気持ちを整理し、お互いに納得できる解決へとつながられるよう心掛けています。

今月の一コマ

敬老の日に向けて、子どもたちが心を込めて準備したハガキをポストへ投函しに行きました。

当日は園外へ出かけ、実際に自分たちの手で一人ひとりハガキをポストに投函しました。「ちゃんと届くかな?」「おじいちゃん、おばあちゃん喜んでくれるかな?」と話しながら、ハガキを大切に持ってポストへ向かう子どもたちの姿が見られました。

普段はなかなか経験することのない「自分でポストに投函する」という体験を通して、郵便がどのように届けられるのかにも興味を持つ良い機会となりました。

子どもたちの思いが込められたハガキが、おじいさま、おばあさまのもとへ無事に届き、敬老の日の素敵な贈り物を彩る贈り物となりました。

